



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 コムチュア

コード番号 3844 URL <http://www.comture.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 向 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長

(氏名) 太田 好彦

TEL 03-5745-9700

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日

平成29年2月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,901	19.9	914	6.3	937	8.4	633	14.2
28年3月期第3四半期	8,258	17.3	860	13.2	864	11.9	554	17.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 636百万円 (16.8%) 28年3月期第3四半期 545百万円 (15.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	130.52	129.99
28年3月期第3四半期	114.46	113.90

(参考) 持分法投資損益 29年3月期第3四半期 6百万円 28年3月期第3四半期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,016	3,538	50.4
28年3月期	5,582	3,261	58.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,536百万円 28年3月期 3,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	28.00	—	38.00	66.00
29年3月期	18.00	18.00	18.00		
29年3月期(予想)				23.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	14.5	1,500	16.0	1,500	15.8	990	20.2	203.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ジェイモードエンタープライズ株式会社、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	5,354,100 株	28年3月期	5,350,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	500,180 株	28年3月期	500,081 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	4,853,849 株	28年3月期3Q	4,848,019 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業の輸出の持ち直しや円安などにより、堅調に推移しているものの、先行きの米国の動向などの不透明感から楽観視はできない状況となっております。当社グループの事業に影響を及ぼすIT投資については、中長期的な企業成長には不可欠なものであることから、クラウドサービスを中心に拡大が継続しています。クラウドサービスにビッグデータやIoT（モノのインターネット）等を加えた新しい市場（第3のプラットフォーム市場）は、2020年には約14兆円の市場規模に大きく拡大することが予測されています（IT専門の調査会社・IDC Japan株式会社「国内第3のプラットフォーム市場 産業分野・企業規模別予測を発表」による）。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、クラウドビジネスの拡大を積極的に行った結果、4月に連結子会社化したジェイモードエンタープライズ株式会社、10月に連結子会社化した株式会社コメントホールディングスを含め、4つの分野での事業（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業及びネットワークサービス事業）が、順調に推移いたしました。また、ビッグデータ、AI（人工知能）、IoT、フィンテック等の新たな技術・分野への取組みを推進した結果、増収となりました。

この業績を支える活動といたしましては、現場の第一線にてお客様の要望や関心（ささやき）を吸い上げ、社内での知恵出しを行い、新たな提案・サービス（カタチ）にしてお客様に応える「ささやきをカタチに」する活動を重点施策の一つとして実行し、同時に高付加価値化の追求、生産性向上と高品質への取組みも継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高、及びすべての利益において、着実な成長を実現し、以下のとおりとなりました。

売上高	9,901,995千円（前年同四半期比19.9%増）
営業利益	914,839千円（前年同四半期比6.3%増）
経常利益	937,425千円（前年同四半期比8.4%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	633,510千円（前年同四半期比14.2%増）

主に高い市場成長率を示すクラウドビジネスの拡大、金融分野での受注拡大、ビッグデータなどの新技術への取組み及び4月に連結子会社化したジェイモードエンタープライズ株式会社、10月に連結子会社化した株式会社コメントホールディングスの業績も寄与し、売上高は第3四半期累計として7期連続の増加となり過去最高となりました。利益面では、継続的な高付加価値化戦略による一人当たり売上高の増大、事業拡大による増益などにより、労務費の増加や連結子会社増による販管費の増加も吸収し、結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期累計として5期連続の増加となり、こちらも過去最高となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、クラウド市場の成長を背景としたクラウドビジネスの拡大、ビッグデータやフィンテック等の金融関連案件の受注増、及び連結子会社増により、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,854,500千円（前年同四半期比24.6%増）、営業利益は604,966千円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

② プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、一部製品の価格変更の影響を受けたものの、クラウドビジネスの拡大によるセールスフォース・ドットコムのリセンス等の売上は引き続き堅調であったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は114,655千円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は42,708千円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

③ ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、お客様のクラウドへの移行に伴う基盤系ソリューション、遠隔監視ビジネスなど、ビジネスの高付加価値化を積極的に推進しました。また、連結子会社増も寄与し、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,124,596千円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は267,164千円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,434,220千円増加し、7,016,247千円となりました。これは主に、のれんが688,096千円、現金及び預金が153,467千円、有形固定資産が148,570千円、差入保証金が73,057千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて1,156,635千円増加し、3,477,628千円となりました。これは主に、未払法人税等が272,257千円、退職給付に係る負債が136,462千円それぞれ減少したものの、1年内返済予定を含む長期借入金が965,002千円、未払費用が211,388千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて277,584千円増加し、3,538,619千円となりました。これは主に、剰余金の配当などにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」（平成28年5月10日公表）で発表いたしました数値から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したジェイモードエンタープライズ株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したことに伴いコメントホールディングスグループを連結の範囲に含めております。さらに、その他1社を持分法適用の関連会社を含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,518	2,450,986
受取手形及び売掛金	1,855,828	1,898,738
仕掛品	34,827	81,757
その他	222,693	305,031
流動資産合計	4,410,868	4,736,514
固定資産		
有形固定資産	267,559	416,130
無形固定資産		
のれん	263,316	951,412
その他	39,562	37,240
無形固定資産合計	302,879	988,652
投資その他の資産		
投資有価証券	204,188	217,513
差入保証金	250,145	323,202
その他	146,386	334,233
投資その他の資産合計	600,719	874,949
固定資産合計	1,171,158	2,279,733
資産合計	5,582,027	7,016,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	750,554	707,602
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	-	339,992
未払費用	229,352	440,740
未払法人税等	336,341	64,083
賞与引当金	238,150	163,156
役員賞与引当金	-	11,599
工事損失引当金	-	11,421
その他	238,638	564,474
流動負債合計	1,993,037	2,503,072
固定負債		
長期借入金	-	625,010
退職給付に係る負債	136,462	-
資産除去債務	59,321	157,828
その他	132,171	191,717
固定負債合計	327,955	974,556
負債合計	2,320,992	3,477,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,526	1,018,633
資本剰余金	267,426	267,533
利益剰余金	2,881,596	3,155,932
自己株式	△910,038	△910,406
株主資本合計	3,257,511	3,531,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,676	5,128
その他の包括利益累計額合計	1,676	5,128
新株予約権	1,846	1,796
純資産合計	3,261,034	3,538,619
負債純資産合計	5,582,027	7,016,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,258,015	9,901,995
売上原価	6,484,335	7,768,378
売上総利益	1,773,680	2,133,617
販売費及び一般管理費	913,098	1,218,777
営業利益	860,581	914,839
営業外収益		
受取利息	4,192	413
受取配当金	19	1,467
助成金収入	3,319	-
保険解約返戻金	2,618	20,269
持分法による投資利益	-	6,037
その他	4,057	4,124
営業外収益合計	14,206	32,313
営業外費用		
支払利息	948	3,804
支払保証料	0	2,564
事務所移転費用	2,854	-
保険解約損	5,677	1,818
その他	891	1,540
営業外費用合計	10,372	9,727
経常利益	864,415	937,425
特別利益		
固定資産売却益	-	1,862
新株予約権戻入益	50	-
特別利益合計	50	1,862
特別損失		
固定資産除却損	-	10,342
特別損失合計	-	10,342
税金等調整前四半期純利益	864,466	928,945
法人税、住民税及び事業税	309,552	295,435
四半期純利益	554,913	633,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	554,913	633,510

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	554,913	633,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,553	3,452
その他の包括利益合計	△9,553	3,452
四半期包括利益	545,359	636,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,359	636,962

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,469,939	23,397	2,764,679	8,258,015	8,258,015	—	8,258,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,746	80,550	42,547	154,843	154,843	△154,843	—
計	5,501,685	103,947	2,807,226	8,412,859	8,412,859	△154,843	8,258,015
セグメント利益	557,438	49,969	253,173	860,581	860,581	—	860,581

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,791,643	35,708	3,074,643	9,901,995	9,901,995	—	9,901,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	62,857	78,946	49,953	191,756	191,756	△191,756	—
計	6,854,500	114,655	3,124,596	10,093,752	10,093,752	△191,756	9,901,995
セグメント利益	604,966	42,708	267,164	914,839	914,839	—	914,839

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューションサービス関連」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にジェイモードエンタープライズ株式会社の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間において368,880千円であります。

また、当第3四半期連結会計期間にアクロス株式会社の名古屋地区の事業を譲り受けしたことに伴い、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において33,192千円であります。

さらに、「ネットワークサービス関連」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社コメットホールディングスの株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において337,094千円であります。